

2026 年 10 月 27 日

各位

会 社 名 株式会社ヤマダホールディングス  
代表者名 代表取締役会長兼CEO 山田 昇  
(コード番号 9831 東証プライム)  
問合せ先 経営企画室 室長 松野 顕  
(TEL:0570-078-181)

## 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2026 年 5 月 8 日に公表した2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想を下記のとおり上方修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

|                                | 売上高            | 営業利益          | 経常利益          | 親会社株主に帰属<br>する中間純利益 | 1 株当たり<br>中間純利益 |
|--------------------------------|----------------|---------------|---------------|---------------------|-----------------|
| 前回発表予想（A）                      | 百万円<br>862,000 | 百万円<br>27,500 | 百万円<br>28,400 | 百万円<br>15,500       | 円 銭<br>23.32    |
| 今回修正予想（B）                      | 880,000        | 28,600        | 30,000        | 21,500              | 32.34           |
| 増減額（B－A）                       | 18,000         | 1,100         | 1,600         | 6,000               |                 |
| 増減率（％）                         | 2.1            | 4.0           | 5.6           | 38.7                |                 |
| （参考）前期連結実績<br>（2026 年 3 月期中間期） | 800,099        | 21,671        | 23,995        | 12,780              | 18.73           |

#### 2. 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想修正の理由

2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想につきましては、省エネ基準の引き上げに伴う「エアコン 2027 年問題」を背景としたエアコン特需及びそれに伴う来店客数の増加等を背景として、テレビや洗濯機等の大型家電が堅調に推移したほか、当社グループが推進する「くらしまるごと」戦略による構造改革の成果が定着してきたことにより、売上高・営業利益・経常利益ともに伸長いたしました。

さらに、資産効率の最大化に向けた資産売却プロジェクトの各種施策について、一部の非事業用資産の売却が先行して進む等、順調に進捗したため、親会社株主に帰属する中間純利益が大きく伸長いたしました。

以上の結果、売上高および営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益のすべてが当初予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期連結業績予想については、現在、精査中であり 2026 年 11 月 6 日開示予定の「2027 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信」にて公表いたします。

#### 【業績予想に関する留意事項】

本資料に記載されている業績予想及び記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上